

**絶対にミスしないための
キャッシュ・フロー計算書作成方法
[例題]**

がんちゃん／岩間（タキプロ）

例題：次のB/S(2カ年), P/Lに基づいて、 CF計算書を作成します。

(以降、特に断りがない場合は単位は百万円とします)

貸借対照表

	平成25 年度末	平成26 年度末	差異		平成25 年度末	平成26 年度末	差異
流動資産	930	954	24	流動負債	760	722	△ 38
現金及び預金	210	222	12	仕入債務	350	360	10
売上債権	400	420	20	短期借入金	400	350	△ 50
有価証券	20	22	2	未払利息	10	12	2
棚卸資産	300	290	△ 10	固定負債	210	252	42
固定資産	500	510	10	長期借入金	200	240	40
建物・機械	500	510	10	退職給付引当金	10	12	2
				負債合計	970	974	4
				資本金	60	60	0
				繰越利益剰余金	400	430	30
				純資産	460	490	30
資産合計	1,430	1,464	34	負債・純資産合計	1,430	1,464	34

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

5ステップに分けて説明します。

CF計算書

税引前当期純利益	?
<非資金支出費用>	?
<逆算過程>	?
:	:
小計	?
:	:
営業CF	?
:	:
投資CF	?
:	:
財務CF	?

Step1

営業CF(逆算過程まで)

Step2

営業CF(最後まで)

Step3 投資CF

Step4 財務CF

Step5 検算

Step1

～営業CFの逆算過程まで～

(Step1は従来とおりです。

メモ用の補助列はStep2以降で使います)

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-1 従来どおり、まずは**税引前当期純利益**を
転記します。

CF計算書

1	税引前当期純利益	60
行番号です。 本資料で説明の都合上設けてい ますが、答案には記載不要です。		

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-2 従来どおり、**非資金支出費用**を記入します。

※非資金支出費用は、
減価償却費、貸倒引当金、退職給付費用です。

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-3 従来どおり、**営業利益～税引前当期純利益の逆算過程**を記入します。

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2
4	営業外収益	△ 8
5	営業外費用	48

逆算ですから、
収益の場合はマイナスし、
費用の場合はプラスします

損益計算書


売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-4 ここまでの小計をメモします。

※この過程は答案には書きません。

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2
4	営業外収益	△ 8
5	営業外費用	48
6	(ここまでの小計)	(202)


$$60 + 100 + 2 + \triangle 8 + 48 = 202$$

Step2

～営業CFの最後まで～

(Step2から、4列の補助列を記入します)

まず、4列のタイトルを記入します。

[illegible]

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-2 売上債権・棚卸資産の変化額をB/Sから

そのまま転記します。額はあとでまとめて計算します

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2
4	営業外収益	△ 8
5	営業外費用	48
6	(ここまでの小計)	(02)
7	売上債権の増加額	
8	棚卸資産の減少額	

額は後でまとめて
計算するので、
今は埋めません

B/S
資産
増減

20

△ 10

B/S
負債・
純資産
増減

[B/S資産増減]
の列に転記

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-3 同様に、仕入債務の変化額をB/Sから転記します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(2)				
7	売上債権の増加額		20			
8	棚卸資産の減少額		△ 10			
9	仕入債務の増加額			10		

額は後で
計算します

[B/S負債・純資産増減]の列に転記

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
	△ 10	固定負債	42
	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-4 小計の項目を追加します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8	B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額					
8	棚卸資産の減少額		20			
9	仕入債務の増加額		△ 10			
				10		
10	小計					

額は後で
計算します

小計はB/SやP/Lから引用する値で
はないため、メモは書きません

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-5 営業外収入に影響する科目をB/SとP/Lから探し、額を転記します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額		20			
8	棚卸資産の減少額		△ 10			
9	仕入債務の増加額			10		
10	小計					
11	営業外収入					8

額は後で
計算します

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-6 同様に**営業外支出**について、
額を転記します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8	B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額					
8	棚卸資産の減少額		20			
9	仕入債務の増加額		△ 10			
10	小計			10		
11	営業外収入					8
12	営業外支出			2	48	

額は後で
計算します

貸借対照表

	差異		差異
:	:	:	:
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
	:		:

損益計算書

:	:
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
:	:

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-7 同様に法人税等支払額について、
額を転記します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8	B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額					
8	棚卸資産の減少額		20			
9	仕入債務の増加額		△ 10			
10	小計			10		
11	営業外収入					
12	営業外支出					
13	法人税等の支払額					

額は後で
計算します

24

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-8 営業CF合計の項目を追加します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8	B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額					
8	棚卸資産の減少額		20			
9	仕入債務の増加額		△ 10			
10	小計			10		
11	営業外収入					
12	営業外支出					
13	法人税等の支払額					
14	営業CF					

額は直後に
計算します

営業CFの項目はB/SやP/Lから引用する値ではないため、メモは書きません

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-9 これまでの項目について額を計算します。

借方科目はマイナスし貸方科目はプラスします。

1	税引前当期	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権	△ 20				
8	棚卸資産	10				
9	仕入債権	10				
10	小計					
11	営業外収益	8				
12	営業外費用	△ 46				
13	法人税等	△ 24				
14	営業CF					

B/S資産増減と
P/L費用

B/S負債・純資産増減
とP/L収益

－

＋

－

＋

B/S
資産
増減

B/S
負債・
純資産
増減

P/L
費用

P/L
収益

－ 20

－△ 10

＋ 10

＋ 8

＋ 2

－ 48

－ 24

(Step2: 営業CFの最後まで)
2-10 小計を計算します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)	B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
7	売上債権の増加額	△ 20	20			
8	棚卸資産の減少額	10	△10			
9	仕入債務の増加額	10				
10	小計	202				
11	営業外収入	8				8
12	営業外支出	△ 46		2	48	
13	法人税等の支払額	△ 24			24	
14	営業CF					

$$202 + \triangle 20 + 10 + 10 = 202$$

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-11 営業CF(合計)を計算します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8	B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額	△ 20				
8	棚卸資産の減少額	10	△10			
9	仕入債務の増加額	10		10		
10	小計	202				
11	営業外収入	8				
12	営業外支出	△ 46				
13	法人税等の支払額	△ 24				
14	営業CF	140				

$$202 + 8 + \triangle 46 + \triangle 24 = 140$$

Step3

～投資CF～

(Step3: 投資CF)

3-1 建物・機械の取得に影響する科目をB/S、 P/Lから探し、額を転記します。

貸借対照表

	差異		差異
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4

損益計算書

売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
14 営業CF	140					
15 建物・機械の取得による支出		10	10		60,40	

額は後で
まとめて
計算します

(Step3: 投資CF)

3-2 同様に**有価証券の取得**について、
額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出		10		60,40	
16	有価証券の取得による支出		2			

額は後で
計算します

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step3: 投資CF)

3-3 投資CFの項目を追加します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出		10		60,40	
16	有価証券の取得による支出		2			
17	投資CF					

投資CFの項目はB/SやP/Lから引用する値ではないため、メモは書きません

額は後で
計算します

(Step3: 投資CF)

3-4 営業CFのときと同様に、

これまでの項目について額を計算します。

			- 資産増減	+ 負債・純 資産増減	- 費用	+ 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	- 10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△2	- 2			
17	投資CF					

額はこの次に
計算します

(Step3: 投資CF)

3-5 投資CF(合計)を計算します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	$\Delta 110$	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	$\Delta 2$	2			
17	投資CF	$\Delta 112$				

$$\Delta 110 + \Delta 2 = \Delta 112$$

Step4

～財務CF～

(Step4: 財務CF)

4-1 短期借入に影響する科目をB/S、P/Lから探し、 額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		

額は後で
計算します

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step4: 財務CF)

4-2 同様に**長期借入**について、
額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
19	長期借入金の増加額			40		

額は後で
計算します

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step4: 財務CF)

4-3 同様に**配当金の支払**について、 額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
19	長期借入金の増加額			40		
20	配当金の支払額			30	36	

額は後で
計算します

貸借対照表

	差異		差異
:	:	:	:
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
:	:	:	:

損益計算書

:	:
法人税等	24
当期純利益	36

(Step4: 財務CF)

4-4 財務CFの項目を追加します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
19	長期借入金の増加額			40		
20	配当金の支払額			30	36	
21	財務CF					

財務CFの項目はB/SやP/Lから引用する値ではないため、メモは書きません

額は後で
計算します

(Step4: 財務CF)

4-5 営業CF・投資CFのときと同様に、
これまでの項目について**額**を計算します。

			- 資産増減	+ 負債・純 資産増減	- 費用	+ 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△50		+△50		
19	長期借入金の増加額	40		+ 40		
20	配当金の支払額	△6		+ 30	- 36	
21	財務CF					

額はこの次に
計算します

(Step4: 財務CF)

4-6 財務CF(合計)を計算します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△50		△50		
19	長期借入金の増加額	40		40		
20	配当金の支払額	△6		30	36	
21	財務CF	△16				

$$\triangle 50 + 40 + \triangle 6 = \triangle 16$$

Step5

～検算～

(Step5: 検算)

5-1 営業CF + 投資CF + 財務CF

= 現金及び現金同等物の増加額 を確認します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額	△ 20	20			
8	棚卸資産の減少額	10	△10			
9	仕入債務の増加額	10		10		
10	小計	202				
11	営業外収入	8				
12	営業外支出	△ 46				
13	法人税等の支払額	△ 24				
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△ 110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△ 50		△50		
19	長期借入金の増加額	40		40		
20	配当金の支払額	△ 6		30	36	
21	財務CF	△ 16				

$$\begin{aligned}
 &\text{営業CF} + \text{投資CF} + \text{財務CF} \\
 &= 140 + \triangle 112 + \triangle 16 \\
 &= 12
 \end{aligned}$$

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step5: 検算)

5-2 [ここまでの小計]欄(=税引前利益+非資金支出項目+逆算過程)

= 営業利益 + 非資金支出費用 を確認します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)	B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
7	売上債権の増加額	△ 20	20			
8	棚卸資産の減少額	△ 10	△ 10			
9	仕入債務の増加額	10		10		
10	小計	202				
11	営業外収入	8				8
12	営業外支出	△ 46		2	48	
13	法人税等の支払額	△ 24			24	
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△ 110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△ 112				
18	短期借入金の減少額	△ 50		△ 50		
19	長期借入金の増加額	40		40		
20	配当金の支払額	△ 6		30	36	
21	財務CF	△ 16				

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
営業利益 + 非資金支出項目 = 100 + (60 + 40 + 2) = 202	
当期純利益	36

(Step5: 検算)

5-3-1 [B/S資産]欄合計額と

B/Sの資産(現金及び預金除く)とを比べます。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額	△ 20	20			
8	棚卸資産の減少額	10	△10			
9	仕入債務の増加額	10		10		
10	小計	202				
11	営業外収入	8				8
12	営業外支出	△ 46		2	48	
13	法人税等の支払額	△ 24			24	
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10			
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△ 50		△50		
19	長期借入金の増加額	40		40		
20	配当金の支払額	△ 6		30	36	
21	財務CF	△ 16				

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		B/S上の合計	0
		=20+2+△10+10	30
		=22	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step5: 検算)

5-3-2 [B/S負債・純資産]欄合計額と

B/Sの負債・純資産 とを比べます。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額		0			
8	棚卸資産の減少額		0			
9	仕入債務の増加額			10		
10	小計					
11	営業外収入	8				8
12	営業外支出	△ 46		2	48	
13	法人税等の支払額	24			24	
14	営業CF	10				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券		2			
17	投資CF					
18	短期借入			△50		
19	長期借入			40		
20	配当金の			30	36	
21	財務CF	△ 16				

CF上の合計
= 10 + 2 + △50 + 40 + 30
= 32

退職給付引当金増加額の2
だけ一致しません。このこ
とを覚えておきつつ次に進
みます。

B/S上の合計
= 10 + △50 + 2 + 40 + 2 + 30
= 34

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
		計	34

(Step5: 検算)

5-3-3 [P/L費用]欄合計額 と 営業利益以降の費用 + 非資金支出費用 とを比較します。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)	B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
7	売上債権の増加額					
8	棚卸資産の減少額					
9	仕入債務の増加額					
10	小計	202				
11	営業外収益	△ 8				8
12	営業外費用	△ 46		2	48	
13	経常利益	△ 24			24	
14	経常利益	140				
15	非資金支出	△ 10	10		60,40	
16	非資金支出	△ 2	2			
17	投資CF	△ 12				
18	短期借入金の減少			50		
19	長期借入金の増加			40		
20	配当金の支払額			30	36	
21	財務CF					

CF上の合計
= 48 + 24 + 60 + 40 + 36
= 208

退職給付費用の2だけ一致
しません。このことを覚えて
おきつつ次に進みます。

P/L上の費用(営業利益以降)
+ 非市資金支出費用
= 60 + 40 + 2 + 48 + 24 + 36
= 210

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step5: 検算)

5-3-4 [P/L収益]欄合計額 と 営業利益以降の収益 とを比べます。

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)				
7	売上債権の増加額	△ 20	20			
8	棚卸資産の減少額	10	△10			
9	仕入債務の増加額	10		10		
10	小計	202				
11	営業外収入	8				8
				2	48	
					24	
					60,40	
				△50		
				40		
				30	36	
12	財務CF	△ 10				

これまでの過程で一致しなかったのは、
「退職給付引当金増加額」の2 (5-3-2 借方)と
「退職給付費用」の2 (5-3-3 貸方) でした。
それぞれCFでは2と△2となり、これらは相殺
しあうため問題はありません。
なお、本例は退職給付引当に関してでしたが、
配当金支払額がゼロの場合も同じことが起きます。

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

これで完了です。

キャッシュ・フロー計算書

1	税引前当期純利益	60				
2	減価償却費	100				
3	退職給付費用	2				
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまでの小計)	(202)	B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
7	売上債権の増加額	△ 20	20			
8	棚卸資産の減少額	10	△10			
9	仕入債務の増加額	10		10		
10	小計	202				
11	営業外収入	8				8
12	営業外支出	△ 46		2	48	
13	法人税等の支払額	△ 24			24	
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△ 50		△50		
19	長期借入金の増加額	40		40		
20	配当金の支払額	△ 6		30	36	
21	財務CF	△ 16				